

Working Together to Improve the Lives of People with Prader-Willi Syndrome

Translation generously supported by NTC Wismettac Foundation

行動管理戦略

PWS Behavior Management Strategies

プラダーウィリー症候群は、スペクトル障害です。PWS 児にすべてに同じ程度の行動徴候が現れるわけではありません。次の戦略や技術は、ほとんど全ての PWS 児に精通しています。不安を高めることは、問題行動の可能性を高めるので、もし不安を低めたり、取り除けるのなら、問題行動も最小限に抑えられる傾向にあります。

- **いつでも穏やかに対応する**；ロジックや理由付けは、PWS 児がイライラしている時は通用しない。PWS 児は、あなたが理解していないと思い、もっとこのイライラを表現しないと理解されないと思う。PWS 児は繰り返し表現する必要があると感じるので、一段とそのイライラを表現する。彼らの懸念を聞いて、繰り返し伝える。共感の後、エスカレーションやかんしゃくは、無視をする。望ましくない行動は極力無視し続ける。
- **異議主義**；PWS 児の脳の自動反応は、しばしば「いいえ」である。これは、反対的、反抗的、論争的な行動のようにみえる。「はい」、「いいえ」の質問を避ける。処理するために多くの時間をあたえる。どこへ行くのにも、時間に余裕をもたせる。限られた、優先的な選択肢とできるだけ多くのコントロールを PWS 児に与える。
例えば、「赤い上着と青い上着、どちらを着る？」、「5 分後に片づける？それとも 8 分後に片づけ始める？」終わりのない質問、処理をしたり、不安を生み出すような自由な質問は避ける。
- **生態倫理**；PWS 児は一般的にまず自分自身を第一に考える。これは、他人の視点から物事を見るのが難しい可能性がある。「私達が急がないと、おばあちゃんの予約に遅れるよ。」と言うより、「おばあちゃんの予約の時間にいけば、私達は映画を見る時間があるよ。」と言う。PWS 児が怒鳴っていたら、「あなたの怒鳴り声は、クラス、仕事の環境を邪魔しているよ」とは言わず、「優しく話せば、あなたの不安や懸念について話せるよ。」と言う。
- **欲求不満**；見るもの、音、匂いなど、問題行動につながる。「いいえ」など否定的な言葉はなるべく使わないようにする。「外に行くのはやめよう」とは言わず、「宿題（やるべき事）が終わったら一緒に外に行こうね」と伝える。いつも PWS 児の心に共感する。PWS 児の言ったことを繰り返し言う。観察して質問をする。「元気がないけど、どうかしたの？」

- **衝動性**；今すぐ、欲した物が欲しい。どこに行く前にも、PWS 児にどこへ行くか、どんな場所か、何が起こるか、どんな行動を望んでいるか、どんな行動は容認できないかを伝えておく。自制ができたら報酬を与える。同じような場所に行ったら、過去におこったことは、またおこるので、それに備える。もし悪い行動などをしていたら事前に話しておく。
- **自分が正しい必要性**；PWS 児は自分がいつでも正しいと思う必要がある。PWS 児の正当性の可能性を許す事によって、権力闘争を避ける。「あなたが正しいかもね」や「それは面白い考えね。あなたは X って思うのね、私は Y と思うわ。」などの言い方をする。
- **硬軟、柔軟性がない**；PWS 児はたびたびスケジュールの変化、急の予定の変化などに柔軟性がかける。言葉や目に見える行動で変化を前もって教える。「あと 5 分で帰る時間だよ。あと 3 分で靴を履く時間だよ。あと 1 分でで出かける時間だよ。時間通りに出かけられるね、すごい！」と伝える。絶対に、「早く、急いで」とは言わない。音楽や、言葉がけを使う。変化は分かった時点で早めに伝える。動揺や悲しんでいたら、共感する。
- **強迫観念**；PWS 児童は脳内で「1 がいいなら、100 はもっといい」と考える。集めたり、盛り上がったたり、拾ったり、整理したり、引っ張ったり、破ったりするのは、脳内の強迫観念に関連している可能性がある。好ましい、限られた選択を与える。共感をする。薬を服用する必要性もある。
- **自己監視**；PWS 児は自己を観察し、自分自身のパフォーマンスを正確に評価する能力はしばしば損なわれる。優しく話す、ゆっくりご飯を食べるなど、何度も伝える。
- **計画、優先付け、および問題解決**；このような技能は一般出来に優れていない。連続的な援助と支援の必要がある。問題を解決してあげるのではなく、どのように解決すればいいのか、どんな方法があるかなど、PWS 児童と一緒に考えて、解決策と一緒に探す。